

教育・文化

小・中学校における 防災時の備えについて

小林洋子議員(フオ) ①小・中学校で行っている避難訓練の形態及び実施頻度は。
②中学校における引き取り訓練の実施予定、及び保護者や生徒の認識は。

教育長 ①毎月1回程度実施しており、地震や火災を想定して校庭に避難する訓練、台風等の自然災害を想定して行う一斉下校訓練、児童・生徒の保護者への引き渡し訓練等の形態がある。

②本年度の実施予定は5校である。認識として、中学生の引き渡しということで保護者にも戸惑いがあったり、生徒も気恥ずかしさがあると聞いている。

第三小学校のグラウンド 拡充工事と通学路について

浅倉成樹議員(公明) ①拡充工事計画の全体像は。

②五日市街道の歩道設置工事期間中の通学路はどうなるか。
教育長 ①正門を東側に30メートル



▲小平第三小学校の通学路
(玉川上水緑道)

句には委託事業者を決定する予定である。
②保護者や学校関係者等で構成する給食運営委員会が運営状況を協議し、試食会を行って給食の質などを十分検証していく。

いまだ見えてこない 15歳の子どもの像とは

坂井やすのり議員(みな) ①15歳の子どもの像を描こうとした最大きなねらいは何か。

市民の利便性向上を含めたまちづくりの諸課題について

都市整備

宮寺賢一議員(政和) ①立川通りのいなげや小平小川橋店前に信号機設置を要望したが、現在の状況は。

②都市計画道路により減少する小平第十二小学校敷地の代替地取得について、現在の状況は。

市長 ①交通管理者に確認したところ、警視庁に要望しており、前向きに検討中とのことだが、設置時期等の明確な回答はまだないとのことである。

教育長 ②当初予定していた学校の北東にある用地は取得が困難な状況であり、西側の用地取得に向けて事務を進めている。

小平駅西側の小平第一号踏切はあかすの踏切か

細谷 正議員(共産) ①業者を募集した結果、小平第六小学校で行われた現地説明会に17社が参加したと聞くが、これをどう受けとめたか。

②9月開始の民間委託による調理業務については十分な検証が必要ではないか。

教育長 ①おおむね予定した参加数と受けとめており、7月上旬

には委託事業者を決定する予定である。
②保護者や学校関係者等で構成する給食運営委員会が運営状況を協議し、試食会を行って給食の質などを十分検証していく。



▲小平第一号踏切

都に対して何を要望してきたか。
市長 ①ピーク時の遮断が1時間当たり40分以上とするあかすの踏切の位置づけではない。

②都に対して市内全体の一般都道と都市計画道路の整備促進及び鉄道連続立体交差事業に関する要望を行っている。

小平らしい住環境や緑を維持するために市は積極的な姿勢を

日向美砂子議員(生ネ) ①住みやすく快適な生活環境を維持し続けられるまちづくりのための課題は。

②水環境の再生や緑を生み出す地球環境にやさしいまちづくりのための課題は。

②どのような検討過程を通して描かれた子ども像なのか。
教育長 ①義務教育9年間に課せられた責任を見つめ直し、実現目標や取り組みの方向性等を象徴的にとらえるためである。

②引き続き十分に説明責任を果たし、住民合意を図るよう都に求めている。

小平第三次長期総合計画 による都市基盤整備について

小野こういち議員(政和) ①近隣公園9か所の整備状況は。

②開発事業に当たらない大規模な宅地化事業に対する指導はどのように行っているか。

小平都市計画道路3・3・8号線
については住民合意を追求せよ

木村まゆみ議員(共産) ①請願の採択を受けて設けられた市民同士の話し合いの場が出された意見はどうであったか。

②住民合意が得られていないのは明らかであり、今後、合意形成に向けてどんな取り組みを考えているか。

市長 ①現状変更を望まないとする意見、渋滞解消や歩行者、自転車の安全確保等の観点から現府中街道の改良を要望する意見等さまざまな内容であった。

認可保育園の設置と運営に関する
ガイドラインの策定について

末廣 進議員(共産) ①民間事業者による認可保育園の設置と運営に関するガイドラインの策定が必要では。

②鈴木保育園の私立保育園への移行ガイドラインの一部を讀みかえて、民間事業者による開設へのガイドラインとしては。

市長 ①国や都が基準や指針等を定めているので、それらを踏まえた上で市全体の保育サービスの向上に努めている。

②移行ガイドラインは個別の

②引き続き十分に説明責任を果たし、住民合意を図るよう都に求めている。

小平第三次長期総合計画による都市基盤整備について

小野こういち議員(政和) ①近隣公園9か所の整備状況は。

②開発事業に当たらない大規模な宅地化事業に対する指導はどのように行っているか。

市長 ①整備完了が3か所、一部整備が4か所、未整備が2か所、整備率は40・37%である。

②小平市開発事業における手続及び基準等に関する条例に該当しない場合は指導できないが、周辺住環境に与える影響が大きい場合は、周辺住民の要望事項を事業者に伝えていく。

※近隣公園とは

都市公園法に基づき地方自治体で設置する公園で、主として近隣に居住する住民の利用に供することを目的とする公園。

課題に即して定めたものであり、民間事業者による開設に当たっては都の要綱に基づき事業者の運営方針も踏まえながら進める。

長期的な子どもたちの
内部被曝を抑える取り組みを

村松まさみ議員(虹ひ) ①小・中学校と保育園の給食食材の放射性物質測定は今後の予定は。

②給食食材の選定過程では安全性をどう確認しているのか。

市長 ①保育園各園で年3回の測定を実施する。

教育長 ①小学校では学期ごとに1回、中学校は月1回、各回

②引き続き十分に説明責任を果たし、住民合意を図るよう都に求めている。



▶食材の安全を確認してつくられている学校給食

5品目で実施している。
市長 ②産地を確認、記録し、生鮮食品以外も原材料の産地を確認したものを使用している。

教育長 ②栄養士が食材の放射線物質測定結果等を参照して選定している。

今年度の保育園
待機児童の対策は適切か

常松大介議員(フオ) 年度途中であっても少しでも待機児童を減らす対策が急務だが、今年度はどのようにしていくのか。

市長 認定家庭福祉員の増設に向けて募集を行っているほか、空き状況の情報提供などきめ細かな対応を行っている。また、来年4月には認可保育園2園を開設する予定だが、引き続き保育需要の増加が予想されることから、さらなる認可保育園の新設を検討することとし、民間事業者からの提案により可能な限り早期の開設を目指していく。

子ども・子育て新システムでは
待機児童解消はできません

木村まゆみ議員(共産) ①待機児童解消まで鈴木保育園の廃園を延期するなど柔軟な対応が必要と考えるがどうか。

②新システムによる保育全体

への影響は。

市長 ①移転先が同じ鈴木町であり、鈴木町にはもう1園の認可保育園の新設を予定していることから、現園舎を継続して使用することは考えていない。

②具体的な実施方法等の詳細については不明な点が多いため、影響について示せるまでには至っていない。

学童クラブの待機児童の
現状と今後の対策について

小林洋子議員(フオ) ①定員をオーバーしている学童クラブへの対応は。

②待機児童が発生している学童クラブへ行っている対応は。

市長 ①一時的余裕教室と臨時職員の活用により弾力的な受け入れを実施している。

②指導員の配置や施設の規模を考えて児童の安全を確保しつつ、必要に応じた臨時職員の柔軟な配置や学校施設の優先的な借用等の対応を行っている。

若者の自立を応援する
施策の充実を

岩本博子議員(生ネ) ①引きこもり等の中高校生や若者の自立をサポートする取り組みが必要ではないか。

②子どもや若者の目線で支援を行う横断的な組織が必要では。

市長 ①保護者等が専門家と相談しながら、本人が学校や社会に出られるよう少しずつ促して見守っていく必要があるが、都の相談窓口や施設を紹介している。

②それぞれの機関がその役割に応じて対応しており、状況に応じて専門の窓口を紹介できるように努めていく。

若者の自立を応援する
施策の充実を

岩本博子議員(生ネ) ①引きこもり等の中高校生や若者の自立をサポートする取り組みが必要ではないか。

②子どもや若者の目線で支援を行う横断的な組織が必要では。

市長 ①保護者等が専門家と相談しながら、本人が学校や社会に出られるよう少しずつ促して見守っていく必要があるが、都の相談窓口や施設を紹介している。